

日本生物高分子学会 2010 年度大会

講演要旨集

2010 年 9 月 10 日(金)～11 日(土)
兵庫県立大学環境人間学部(姫路市)

2010 年度大会に参加される皆様へ ーご案内ー

本大会は、兵庫県立大学環境人間学部(姫路市新在家本町 1-1-12)を会場として行われ、一般講演、アフタヌーンレクチャーを開催する予定です。会員・非会員を問わず、多くの研究者、一般院学生、社会人の参加を希望します。

参加費について

講演会および懇親会の参加は事前登録していただくことになっています。お早めに参加費の振り込みを完了して下さい。名札等は会場受付でお渡しいたしますのでお受け取り下さい。事前に個人宛には送付いたしません。当日でも受付は可能ですので、必ず参加登録を行って下さい。

	講演会	懇親会
一般および非会員	4,000 円	4,000 円
ユニット会員	無料	4,000 円
学生(会員および非会員)	無料	1,000 円

事前登録の振込先:

銀行振込み(播州信用金庫 北支店 普通 8995153 日本生物高分子学会 2010 年度大会新田陽子)

優秀発表者

若手研究者の優れた口頭発表に対して Best Presentation Award を授与いたします。受賞者は、大会参加者の投票によって決定します。会場の受付で参加登録と同時に投票用紙を配布いたします。講演番号 1a1~1a7、1p1~1p7 および 2a1~2a8 の 22 題が対象です。研究内容の優秀さだけでなく、明瞭でわかりやすい、課題を理解しているなど、発表の仕方(Presentation)を中心に選んで下さい。

優秀発表者の発表は、第 2 日目一般発表の終了後に行います。

口頭発表

講演には液晶プロジェクターを使用し、Windows PC (Microsoft Power Point 2003 または 2007) を用意します。ファイルを USB メモリでお持ちいただくようお願いいたします。口頭発表の時間は 15 分(発表 12 分・討論 2 分・交代 1 分)です。時間内に発表できるように準備してください。

評議員会

大会第 1 日目の 12:00 より日本生物高分子学会評議員会を F 棟 2 階の F203 室にて開催いたします。評議員の方はご出席下さい。昼食の用意は致します。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

総会

大会第 1 日目の 13:00 から講演会場(F202 室)にて開催いたします。日本生物高分子学会会員の方はご出席下さい。

編集委員会

大会第 2 日目 12:00 より日本生物高分子学会編集委員会を F 棟 2 階の F203 室にて開催いたします。編集委員の方はご出席下さい。昼食の用意は致します。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

BT 戦略会議およびバイ燃セミナー

大会第 2 日目 14:00 より BT 戦略会議およびバイ燃セミナーを講演会場(F202 室)にて開催いたします。

昼食について

大学近辺の飲食店(次頁に掲載)、コンビニ等をご利用ください。

兵庫県立大学環境人間学部へのアクセス

JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス(西高行き、田寺北行き、書写行き、大池台行き)乗車 ≫ 「県立大環境人間学部」下車すぐ【乗車時間約 10 分】
アクセスマップ、バス時刻表などは兵庫県立大学環境人間学部 Web (<http://www.shse.u-hyogo.ac.jp/accessmap/index.html>)をご参照ください。

日本生物高分子学会 2010 年度大会

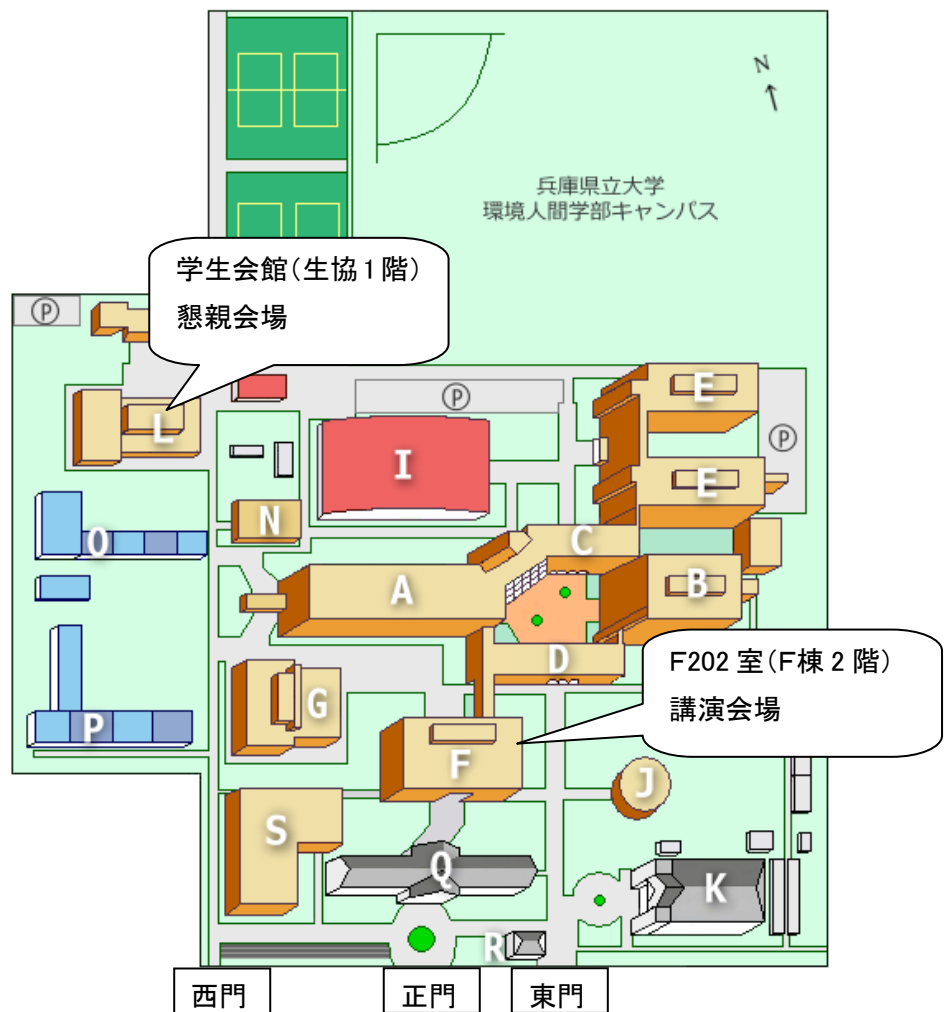
実行委員会

世話人(代表) : 新田 陽子 (兵庫県立大学環境人間学部)

世話人 : 北元 憲利 (兵庫県立大学環境人間学部)
渡邊 敏明 (兵庫県立大学環境人間学部)
加藤 陽二 (兵庫県立大学環境人間学部)
榎原 周平 (兵庫県立大学環境人間学部)

キャンパス案内図

- A 棟: 情報・教育棟
- B 棟: 研究棟 I
- C 棟: 研究棟 II
- D 棟: 事務棟
- E(南)棟: 研究棟 III
- E(北)棟: 研究棟 IV
- F 棟: 講義棟
- G 棟: 学術情報館
- I 棟: 体育館
- J 棟: 音楽堂
- K 棟: 講堂
- (旧制姫高校舎)
- L 棟: 学生会館(生協)
- M 棟: クラブハウス
- N 棟: あじさい館
- O 棟: いちよう北館
- P 棟: いちよう南館
- Q 棟: ゆりの木会館
- (旧制姫高校舎)
- S 棟: 研究棟V
- R 棟: 保安室



かな福手打うどん
姫路市新在家中の町 17-23
079-294-0419

バス停
「県立大環境人間学部前」

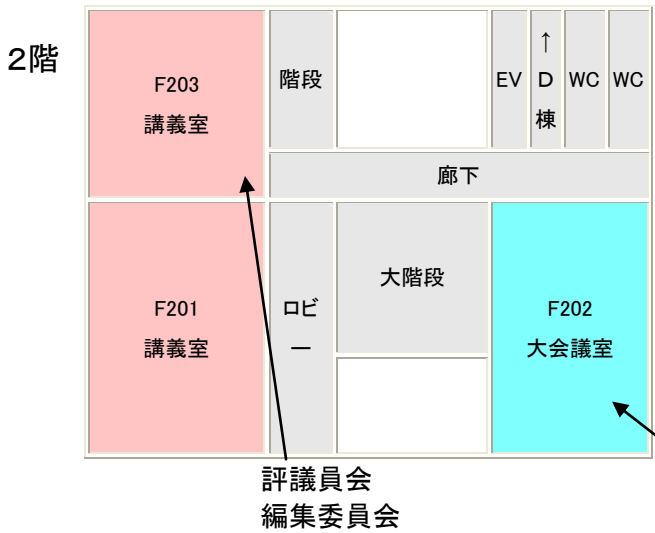
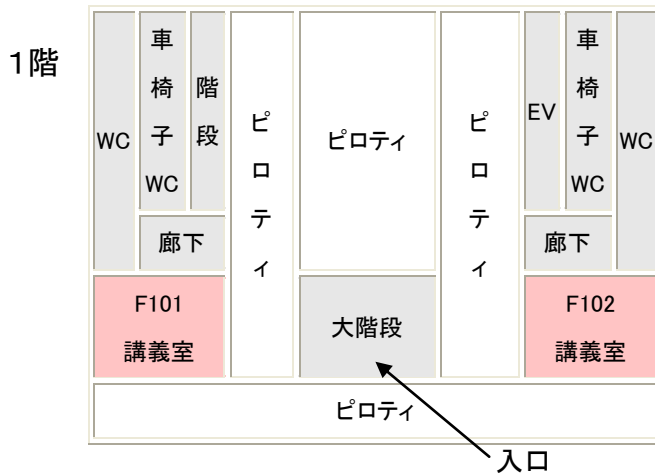


杵屋学園前店
姫路市西八代 9-21
079-297-1323

睦月
姫路市南八代町 20-10
079-294-8500
※予約をおすすめします



F 棟案内図



大会スケジュール

第1日:9月10日

10:00	一般講演 (若手発表)
12:00	評議員会
13:00	総会
13:30	一般講演 (若手発表)
15:30	アフタヌーンレクチャー
18:00	
18:30	
20:30	懇親会

第2日:9月11日

9:00	一般講演 (若手・一般)
12:00	編集委員会
14:00	BT 戦略会議 バイ燃セミナー

日本生物高分子学会 2010 年度大会

プログラム

大会 1日目 9月10日(金)

10:00~11:55 一般講演(若手発表) F 202 室

- 1a1 10:00~10:15
セロトニン及びその代謝物の酸化物により修飾されたタンパク質に対する抗体の作製と特異性解析
○沖 公太¹、北元 憲利¹、Anthony J. Kettle²、加藤 陽二¹
(¹兵庫県立大院・環境人間学研究科 ²ニュージーランド・オタゴ大学)
- 1a2 10:15~10:30
シロイヌナズナの CorA family タンパク質 AtMRS2-10 のイオン輸送能解析
○重見 善平、石畷 純男、佐上 郁子
(京都府立大院・生命環境科学研究科)
- 1a3 10:30~10:45
ギムネマ酸による3種類の *Streptococcus mutans* 由来 glucosyltransferase の酵素活性阻害効果の解析
武村 翔平、石畷 純男、佐上 郁子
(京都府立大学大学院 細胞高分子化学研究室)
- 1a4 10:45~11:00
大腸菌 Mg²⁺要求性変異株の取得
○平田 智大、柴田 真喜子、佐上 郁子、石畷 純男
(京都府立大院・生命環境)

11:00~11:10 休憩

- 1a5 11:10~11:25
クロマチンリモデリングタンパク質のリン酸化による構造機能制御機構の解明
○橋本 愛美、松井 理恵子、上脇 隼一、楯 真一
(広島大院・理・数理分子)
- 1a6 11:25~11:40
植物由来成分をリードとするウニ胚絨毛除去物質のメカニズム解明への試み-構造活性相関と他生物への作用機序-
○岩田 雄樹、坂本 尚昭、山本 卓、泉 俊輔
(広島大院理)
- 1a7 11:40~11:55
タバコ培養細胞由来のカルボン還元酵素の精製および配列の決定
○山本 良彦¹、松嶋 亮人²、泉 俊輔¹
(¹広島大院理, ²広島大自然科学研究支援センター)

12:00~13:00 評議員会 F 203 室

13:00～13:30 総会 F 202 室

13:30～15:25 一般講演（若手発表） F 202 室

1p1 13:30～13:45

小麦フスマの前処理・酵素処理による機能性付与

○和田 真人、西山 勝也、藤田 豊、鈴木 晃、舟津 尚志、尾関 健二、大箸 信一
(金沢工大・ゲノム研)

1p2 13:45～14:00

GAD65・GAD67のN末端領域解析による役割解明

○吉田 瑠子、新森 温子、新田 陽子、赤桐 里美、植野洋志
(奈女大・院・食物栄養)

1p3 14:00～14:15

ヒト単核白血球におけるGAD65発現の解析

○菊田 香苗¹、松川 聡子²、通山 由美³、赤桐 里美¹、植野 洋志¹

(¹奈良女大・生環・食物、²奈良女大・院・共生自然、³姫路獨協大・薬・医療薬学)

1p4 14:15～14:30

グルタミン酸デカルボキシラーゼの基質特異性に関する検討

○藤田 直子、神原 麻理子、伊藤 美奈、植野 洋志
(奈良女子大・生環・食物栄養)

14:30～14:40 休憩

1p5 14:40～14:55

*Coprinus cinereus*におけるGAD情報の抽出と発現様式の検討

○古谷 佳子、亀山 久美子、藤本 大道¹、赤桐 里美、植野 洋志
(奈良女子大・生環・食物、¹大和菌学研究所)

1p6 14:55～15:10

γ -アミノ酪酸(GABA)合成酵素の活性に影響を及ぼす食品成分についての検討

○濱野 香里、久木 久美子、伊藤 美奈、赤桐 里美、植野 洋志
(奈良女大・生環・食物)

1p7 15:10～15:25

ミラクリントタンパク質の発現系の構築と機能性部位の探索

○石 薇、尾家 麻里子、寺畑 吏得子、新田 陽子、植野 洋志、實松 敬介¹、二ノ宮 裕三¹
(奈良女大・院・食物、¹九大・院・菌)

15:30～18:00 アフタヌーンレクチャー F 202 室

- S1 15:30～16:00
マルチ銅酸化酵素の構造解析
小森 博文
(兵庫県立大院・生命理)
- S2 16:00～16:30
ビタミン B₁₂ と細胞内情報伝達
榎原 周平
(兵庫県立大・環境人間)
- S3 16:30～17:00
醤油の機能性 ―日本が誇る調味料を科学する―
古林 万木夫
(ヒガシマル醤油・研究所)
- S4 17:00～17:30
海洋生物幼生に対する特異的モノクローナル抗体の開発とその応用
山下 桂司
(株式会社セシルリサーチ)
- S5 17:30～18:00
多糖由来の機能性食品について
山下 和彦
(ヤエガキ醗酵技研株式会社)

18:30～20:30 懇親会 生協 1 階

大会 2日目 9月11日(土)

9:00～11:10 一般講演(若手発表) F202室

- 2a1 9:00～9:15
酵母カルボキシペプチダーゼ Y の基質取り込み機構の検討
○牧野 舞、佐々木 智子、李藤 栄子、新田 陽子、赤桐 里美、植野 洋志
(奈良女子大院・人間文化・食物栄養学)
- 2a2 9:15～9:30
産業廃棄物、梅酒製造後の漬け梅を分解する微生物のスクリーニング
○北口 有美、栗下 鳩留香、山路 並加、福山 和子¹、吉田 暁¹、赤桐 里美、植野 洋志
(奈良女大・生環・食物、¹梅乃宿酒造)
- 2a3 9:30～9:45
麹菌由来組換え体 GAD No.6 の生化学的解析
○寺畑 吏得子¹、永廣 美代子¹、尾関 清子²、尾関 健二³、新田 陽子¹、赤桐 里美¹、
植野 洋志¹
(¹奈女大・院・食物栄養、²奈女大・院・基盤生活科学、³金沢工大・ゲノム生物学研)
- 2a4 9:45～10:00
麹菌由来のグルタミン酸デカルボキシラーゼ (GAD) No.3 の機能解明
○松葉 直子¹、寺畑 吏得子²、尾関 清子²、尾関 健二³、赤桐 里美¹、植野 洋志¹
(¹奈女大・生環・食物栄養学、²奈女大・院・食物栄養学、³金沢工大・ゲノム生物学研)

10:00～10:10 休憩

- 2a5 10:10～10:25
液体培地で高生産する麹菌未知タンパク質 (25kDa) 遺伝子の解析
○石崎 浩章、山岡 隼人、佐野 元昭、尾関 健二、大箸 信一
(金沢工大・ゲノム研)
- 2a6 10:25～10:40
多種酵母におけるグルタミン酸デカルボキシラーゼ (GAD) の比較とストレス耐性への関与
○中島 みのり、神原 麻里子、田中 久恵、赤桐 里美、植野 洋志
(奈良女大・生環・食物)
- 2a7 10:40～10:55
米ヌカタンパク質からの酵素分解ペプチドの ACE 阻害活性
○綱 達也、古田 詠子、渡部 倫代、三輪 啓吾、尾関 健二、大箸 信一、山中 崇¹、築野卓夫¹
(金沢工大・ゲノム研、¹築野食品工業)
- 2a8 10:55～11:10
還元および酸化処理がケラチンフィルムに与える影響 —パーマダメージ評価への適用—
○高山 俊輔¹、森田 拓野¹、伊藤 弓子¹、藤井 敏弘¹、渡辺 智子²、川副 智行²
(¹信州大・繊維、²資生堂)

11:10～11:20 休憩

11:20～11:50 一般講演 F 202 室

2a9 11:20～11:35

ヒト毛髪由来のケラチンフィルムの作製とハイドロキシアパタイトとの複合化

○藤井 敏弘、田中 哲平、大川 浩作

(信州大・繊維)

2a10 11:35～11:50

未利用バイオマス資源を原料とする糖質分解酵素阻害剤の開発ー阻害剤候補バイオマスの探索ー

松本 正

(滋賀県東北部工業技術センター)

12:00～14:00 編集委員会 F 203 室

14:00～ BT 戦略会議およびバイ燃セミナー F 202 室

起業に成功する人、失敗する人 ～社労士から見た共通ルール

橘 雅恵

(社会保険労務士 たちばな事務所)

滋賀県工業技術センターにおけるバイオ燃料開発研究の変遷ー化学法から酵素法へ、菜の花から水草までー

松本 正

(滋賀県東北部工業技術センター)